

献血サポーターご紹介コーナー

Vol.21

道場建設株式会社

道場建設(株) 安全衛生委員会 様

材木のスペシャリストとして培ってこられた高い技術とノウハウをもとに、一般住宅から各種公共施設まで、県産材・国産無垢材にこだわり、木の特徴を生かした住まいづくりを提案されている会社です。

同社で建設に従事する社員と協力会社の皆さまによる安全かつ衛生的な職場環境を維持するための組織である「道場建設(株)安全衛生委員会」様が中心となり、平成4年から毎年献血にご協力いただいております。今年5月にも献血バスが伺い、これまでに延べ3,676名の方に献血していただきました。

長年にわたる献血協力のご功績により、平成13年には石川県知事感謝状を、平成18年には厚生労働大臣感謝状を受賞されています。

当社安全衛生委員会の事業として平成4年より毎年取り組んできました献血は、今年で26回目を迎えることが出来ました。会員のみなさん、一般の方にもご協力頂き、大変感謝致しております。これからも社会貢献活動の一環として献血を続けていきたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。(総務部 高橋 様)

人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.



撮影場所: 石川県立金沢向陽高等学校

あなたの街で 献血 できます ~献血バス~

石川県内では、2つの献血ルームの他に、県内各地に何う「献血バス」で献血していただくことができます。

献血バスは、県内全域の市役所・町役場・公民館、企業・団体、各種学校、大型ショッピングセンターなどに伺っています。



献血バスの予定は、各献血場所のポスター等でお知らせしているほか、石川県赤十字血液センターのホームページでもご覧いただけます。

あなたの街で白い献血バスを見かけたら、ぜひ献血にご協力ください◎



今後の主な献血バス予定

- 11月21日(火) 午前：穴水町役場 午後：公立穴水総合病院
- 22日(水) 珠洲市役所
- 24日(金) 小松目の出合同庁舎
- 12月 3日(日) アピタ松任店 (クリスマス献血キャンペーン)



「献血サポーター」とは 医療に必要な血液を献血によって安定的に確保するために、献血に積極的に協力していただける企業・団体の皆さまです。

献血サポーターに関するお問い合わせ
石川県赤十字血液センター 献血推進課
または、献血サポーターホームページ
TEL (076) 254-6372
http://www.ken-sapo.jp/

ありがとうございました!! 永年献血

長きにわたり献血にご協力いただき、今般献血を卒業された皆さまをご紹介します

70歳を目前にして、52回目の献血で終了となりました。元気な体を親から授かり、自分の血液がささやかでも社会の役に立つと思うと続けられました。今までがお蔭様にてでした。 関原 清子 様

最初の献血は会社関係の依頼によるものでした。自らは注射が大嫌いでしたので献血はあまりしませんでした。ある程度年を取ってボランティアの感覚で献血をするようになり、いつの間にか69才まで42回を数えました。 関根 孝雄 様

学生限定 トモケン キャンペーン実施中!!

現在、献血ルーム(ル・キューブ、くらつき)では、トモケンキャンペーンを実施中☆友達と2人以上で献血にご協力いただいた学生限定で記念品プレゼント!ぜひこの機会に献血にご協力をお願いします。みんなでLet's 献血 (^o^)/

複数回献血クラブ 特別試写会

10~11月に献血にご協力いただいた複数回献血クラブ会員を対象に、抽選で特別試写会にご招待します。当日は、献血に関するミニトークショーもあります。ぜひこの機会に「複数回献血クラブ」にご登録ください!

●日 時/11月21日(火)18:30開演 ●会 場/イオンシネマ金沢フォーラス

「火花」 (11月23日公開)

【応募条件】平成29年10~11月に献血にご協力いただいた複数回献血クラブ会員の方
【応募方法】件名に「試写会希望」、本文に「氏名・献血者コード」を入力の上、「yoyaku@ishikawa.bc.jrc.or.jp」までメール送信ください。
【応募締切】平成29年11月13日(月)必着
【当選発表】当選通知ハガキをお送りします

あともがき

いつも献血にご協力頂き、ありがとうございます。秋になり気温も低くなってきましたので、体調管理に気をつけてください。今回の記事をきっかけに、若年層のみなさん多くの方が理解・関心を深め、献血に協力して頂ければと思います。今後も冬の献血キャンペーンなど様々なイベントがありますので、みなさま献血ルーム、献血バスにぜひお越しください。(さちしお編集委員 U)

さちしお

SACHISHIO

【さちしお】
「血液事業をとおして、みなさまの幸せに貢献する」との願いを込め、幸せの「幸(さち)」と「血潮(ちしお)」を組み合わせ、名付けられました。



献血キャラクター けんけつちゃん 石川県バージョン 利家チッチとまつチッチ

2回にわたり、若い世代の方々に献血への取り組みや思いなどを伺います。

今回は、初めて献血して下さった石川県内の高校生が、献血ルーム ル・キューブ中嶋所長と学生献血推進ボランティアとともに、献血した感想や、献血を取り巻く課題、若者だからこそできる献血への協力について話し合います。



献血ルーム ル・キューブ 所長 中嶋 善幸

石川県立金沢二水高等学校 石立 有希さん 市川 南帆さん 大橋 立希さん

石川県学生献血推進委員会 副委員長 山本 真実さん

特別座談会 II

高校生の献血

～10代からの献血、私たちだからできること～

高校生、献血してみました

中嶋 皆さんは初めて献血していただきましたが、どうでしたか？

石立 検査や採血でとても時間がかかると思っていたのですが、実際献血してみると、予想よりだいぶ短時間で終わったのでびっくりしました。

大橋 献血ってとっつきにくいイメージがあったんですが、実際そんなに痛くなかったし、気軽にできました。

市川 献血しているとき、看護師さんが優しく話しかけてくれたので安心できました。



中嶋 ありがとうございます。献血する前は、どんな印象でしたか？

大橋 献血する前は、献血している自分が想像できませんでした。僕たちのような高校生だと、そもそも採血自体あまりしたことがない人が多いと思うので、怖いか不安だとかいう気持ちから、なかなか踏み出せない人もいられるかもしれません。

石立 私の場合は、献血は自分とはあまり関わりのないことのように感じていました。「献血＝社会貢献」という固いイメージがあって、普段の生活の中に、勉強や部活や、夢中になるものが他にたくさんある中で、社会貢献といってもなかなかピンとこなかったというか…

市川 CMをよく目にしていたので、献血が必要ということはわかってはいたんですが、私1人くらい協力したところで何も変わらないんじゃないか、と漠然と思っていました。それに、1人で行くのはちょっと気が引けてしまって…



若者の献血が必要な理由

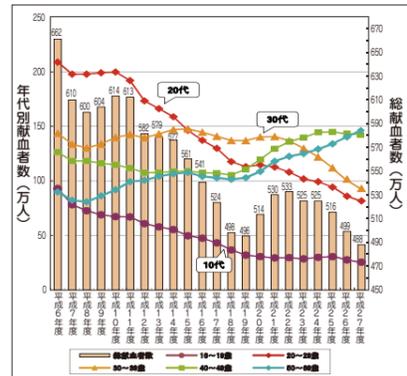
中嶋 献血に対して皆さんと同じような印象を持っている方は多いかもしれませんね。

でも、実は皆さんのような若者にこそ献血に協力してほしいんです。

日本では、全国で一日に約3,000人の患者さんが輸血を必要としていて、その患者さんを支えるためには、毎日およそ13,000人の方の献血が必要です。

市川 たくさんの方に毎日献血してもらわなければならないんですね。

中嶋 そうなんです。ただ、グラフを見てもわかるように、今は40代の方が主力となって献血して下さっているおかげで患者さんが必要とする血液を確保できていますが、一方で若い世代の献血離れが深刻になっています。10～30代の献血者はこの10年で31%も減少してしまいました。



献血できる年齢には上限があり、現在ご協力いただいている方もいずれ献血できなくなってしまいますから、このまま献血者が減少し続けると、近い将来患者さんが必要な血液を確保できなくなるおそれがあります。

だから、将来を担う若い方、特に皆さんのような10代・20代の方に1人でも多く献血を知っていただき、今から一



緒に患者さんを支えてもらいたいです。

山本 僕も、献血セミナーで若い人の献血が減少しているのを知ってから、仲間を誘って積極的に献血しています。とはいえ僕が献血について知ったのは大学に入ってからで、それまではほとんど意識していませんでした。

石立 最初に献血したのは、どんなきっかけからですか？

山本 献血推進ボランティアを始めた時に、献血って実際どんなものだろう、と興味がわいたことがきっかけでした。献血したことで、学生の僕でも誰かの役に立つことができるんだ、と実感できて嬉しかったのを覚えています。

きっかけや動機は何でもいいんです。人助けなどと堅苦しく考えなくても構いません。気軽に献血することで、結果的に誰かの役に立つんです。それに、自分が輸血を受ける立場になるかもしれないから、誰かに任せきりにしないで、積極的に献血に関わっていききたいですね。

また、ボランティアをしたくても機会がなかったり、どうやるのかわからなかったりする方も多いと思いますが、その点、献血は気軽にできるボランティアです。ぜひ一度献血に協力してみてください。



献血ルームってこんなところ

市川 献血してみてもう1つ驚いたのは、献血ルームです。こんなおしゃれな、カフェのような雰囲気だとは思いませんでした。献血した後にジュースやお菓子を食べてゆったりできます。

中嶋 ありがとうございます。献血ルーム ル・キューブは、「木漏れ日あふれる玉手箱」というコンセプトで、平成26年3月にオープンしました。初めての方でもリラックスして献血していただけるような環境づくりを日々心掛けています。

石立 漫画や雑誌、DVDも充実していますね。

大橋 インターネットもできるんですか？

中嶋 はい。待合室に献血者専用のPCがありますし、献血ルーム内ではWi-Fiを使っていただくこともできます。献血した後は、ゆっくり休憩していただく必要があるので、このような様々なサービスを用意しています。また、皆さんのような学生さんを対象にしたキャンペーンも随時実施しています。



石立 今回献血に行くこと決めた時に、友達に献血ルームについて話しましたが、そんなところがあるのか、と驚いていました。まだまだ献血ルームを知らない人が多いんじゃないでしょうか。

中嶋 武蔵ヶ辻に移転して間もないので認知度はまだまだです。皆さんもお友達に口コミで広めていただければありがたいです。毎日18時まで受付しています(月曜日は定休)ので、放課後ちょっと時間があるから献血しようかな、くらいの気持ちで気軽に寄ってみてください。

市川 学校帰りに立ち寄ることができるのは嬉しいですね。

山本 県内には他にも石川県庁前に「献血ルーム くらつき」がありますし、献血ルームに来られない方は、献血バスでも献血できます。どちらの情報も石川県赤十字血液センターのホームページで確認できますよ。

献血できなくともできる協力

市川 献血は16歳からできると伺いましたが、高校1年生の中にはまだ15歳の生徒もいて献血できません。献血できない場合、どんなふうに協力ができますか？

中嶋 おっしゃるとおり、献血には年齢や体重などの基準があります。これは献血して下さる方の健康を守るためなんです。基準に満たないと残念ながら献血することができません。そんな方にとっては、献血のことを周りのお友達やご家族に話していただくことも献血へのご協力の一つです。それが新たな献血のきっかけにつながります。

石立 友達や家族から聞いたら、献血って身近なものだと感じるし、聞く側も率直な質問ができそうです。

山本 学生献血推進ボランティアの中にも事情があって献血できないメンバーがいますが、その分献血について勉強していて、積極的に献血をPRしてくれています。また、仲間同士で情報共有するのは、僕たち若者が得意なところだと思います。献血してくれた学生がSNSにアップすることで、それを見た他の学生も献血に協力してくれることがあります。

中嶋 いろんな形で、献血について周りの方と共有していただければ嬉しいです。



献血って楽しい!

石立 今回実際に献血してみて、献血の印象が大きく変わりました。献血ってもっと大変で、誰かのためにするっていう要素が強いと思っていましたが、献血してみたら意外と自分も楽しくて、また献血したくなりました。

大橋 患者さんの役にも立てたし、なんだかすっきりした気分です。

市川 友達にも献血や献血ルームのことを話します。「新たな経験」「楽しい場所」として、きっとみんな献血ルームに来るんじゃないかな、と思います。

中嶋 ありがとうございます。献血ルームに来て下さっている方に聞くと、献血した後にのんびりすることが息抜きになるとか、静かで落ち着いた雰囲気ですぐに読書するのが好きとか、記念品を集めているとか、皆さんそれぞれのスタイルで楽しんでいただいているようです。ぜひ、献血ルームで自分なりの献血の楽しみ方を見つけてください。

山本 僕たちも、夏場や冬の寒い時期など血液が不足する時期に、献血ルームでキャンペーンを実施しています。良かったらその際にも遊びに来てください。

石立・市川・大橋 はい。またぜひ来ます！
中嶋 待ってますね！今日は皆さんありがとうございました。



撮影場所：献血ルーム ル・キューブ(金沢市袋町1-1かなざわはこまち3階)